

南一郎平を朝ドラに！

日本三大疎水の父

南一郎平

ものがたり

問合せ

総合政策課企画調整係

(☎27-8109)

第5回 一郎平と児島佐左衛門

全長が17kmに及ぶ広瀬井路は、コース上、随所に川や谷、山があるなど数多くの難所を流れています。そのため、完成までには、4度も中断を余儀なくされ、約120年の歳月を要しています。

そうした難所を越えて水路を通し、かつ維持運用を図っていくためには、従来の樋をかける工法では限界があったことから、隧道（トンネル）や頑丈で流されにくい石造りの水路橋の整備が必要となりました。

そこで、地元の石工であった児島佐左衛門は、測量係の佐藤弥治右衛門や貫師（※）であった肥後喜三郎らとともに、難工事であった広瀬井路の完成を技術的に支えました。



児島佐左衛門

（宇佐学マンガシリーズ⑤より抜粋）

150年経った今も水路として現存する藤ヶ谷水路橋には、佐左衛門の卓越した石工としての技術が存分に生かされています。

広瀬井路工事を通じて苦楽を共にした一郎平が内務省勤務になると、今度は、児島組で棟梁だった息子の基三郎が、日本三大疎水の安積疎水や那須疎水などの開発に携わり、一郎平をサポートしました。

このように、一郎平の全国における活躍の裏には、多くの人々の支えがありました。

（※）貫師：トンネルを掘る技術者。

※宇佐学マンガシリーズ⑤「日本三大疎水の父 南一郎平」は市民図書館 電子分館で閲覧できます。

多文化共生ひろば

問合せ 秘書広報課 多文化共生・交流係
(☎27-8240)

このコーナーでは、宇佐市の外国人住民や支援者、市の取り組みなどについてご紹介します。みんなが暮らしやすい多文化共生社会を作るためにまずは知ることから始めませんか。

お父さん、お母さん、みんな元気ですか？みんなに日本の健康食品とお菓子を送ったよ。少しだけ僕の気持ちだよ。そばにいてほしいって思っているはずなのに今年も帰れなくてごめんね。僕は、家族と将来のために故郷を離れ、遠い日本に来て、知らない人や分からないことばかりでも、仕事や生活に慣れるために頑張ってるよ。ただ、時々疲れて友達に心配かけないようにこっそり泣くんだ。でも、優しい人たちに出会い、いろんなことを教えてもらい、いい思い出もたくさんできて、すごく幸せだよ。だから、日本に来たことは間違いじゃなかったよ。将来、僕は子どもたちに「お父さんはこんな素晴らしい体験をしたよ」と自慢するんだ。

お父さん、お母さん、いつもありがとう。体に気をつけて僕の帰りを待っててね。大好きだよ。



お便りをくれた方

名前 ホアン ティエン ルックさん 国籍 ベトナム
住所 上田 職場 双葉産業㈱

3回にわたり双葉山の話が続きましたが、もう一つ相撲の話題をお届けします。去る7月、米国のバーミングハム市で行われたワールドゲームズにおいて、宇佐市で合宿した相撲ウクライナ代表チーム6選手は、金2、銀3、銅2のメダルを獲得する大活躍を見せました。

代表チームにとって宇佐市は日本での初めての合宿地。侵攻が続く祖国や家族を案じつつ、慣れない異国での合宿は不安だらけだったと思います。そのような中、祖国に勇気や誇りをプレゼントできたのは、祖国を思う強い気持ち、そして精進の賜物であり、心よりお祝い申し上げます。

6月2日から2週間の合宿期間中、多くの方々より寄附金、差し入れなどをいただくとともに、立命館大学、神戸親和女子

大学、鳥取城北高等学校女子相撲部・OGの皆さまには合同練習に参加いただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、最終日には宇佐神宮や双葉の里を訪問、笑顔で送り出すことができました。「よく頑張った」八幡神や双葉山からの声が聞こえてきそうです。

ただ、厳しいウクライナ情勢に変わりはありません。一刻も早く平和が訪れることを祈るばかりです。この度の合宿は、わが町も戦場であった宇佐市に貴重なレガシーを残してくれました。今後も関係団体などを通じて友好交流が図られるよう期待したいと思います。



平和ミュージアム（仮称）開館に向けて
kioku wo tsunagu

記憶をつなぐ

このコーナーでは、戦後75年以上経って体験者の声が薄れゆく中、戦争の実像を伝えるためにこれまでで収集した資料や今に残る戦争遺構にまつわる「記憶」を紹介していきます。

51 角度出しブロック

小倉陸軍造兵廠糸口山製造所で使用された器械で、製品の角度を計測するためのものです。軍需工場が多い北九州への空襲が激しくなり、昭和19年に小倉陸軍造兵廠の一部が宇佐へ疎開しましたが、その折に持ち込まれたものと思われます。

糸口山製造所では、軍人や工員、動員学徒など1万人近くが働いていました。



■ 戦争関連資料を収集しています。提供していただける方は社会教育課 文化財係（☎ 27-8199）にご連絡ください。資料は平和の尊さを学ぶために活用いたします。

問合せ 社会教育課 平和ミュージアム建設準備室（☎ 27-8200）